

日本医療福祉政策学会第9回研究例会 「地域から問う医療・公衆衛生」

※本研究例会は、開催にあたり岩手県立大学全学研究支援費の助成を受けています。

・ 8月9日（土）13:30～17:00

岩手県立大学アイーナキャンパス 学習室4（いわて県民情報交流センター（アイーナ）7階）

（<https://www.iwate-pu.ac.jp/aiina/>）盛岡駅近くの建物です

基調講演 13:30～15:00

基調講演① 坪谷透（一般社団法人 みんなの健康らぼ 代表理事／東北大学大学院歯学研究科 非常勤講師）

基調講演② 竹林正樹（青森大学）

各45分

休憩 15:00～15:15

パネルディスカッション 15:15～17:00

- ・ 佐野亘（京都大学）
- ・ 井出和希（大阪大学）
- ・ 役重眞喜子（岩手県立大学）
（フロアからの質疑応答を含）

参加申し込み：オンラインフォームからお願いします。

<https://forms.gle/GG2T84WpSW3AEWdAA>



エクスカーション

- 往復バスチャーター済
 - 行き：9:15盛岡駅 **西口発**
 - 帰り①：12:00紫波町発
 - 帰り②：15:30紫波町発
- (※盛岡駅から紫波町までは30分程度で到着します)

デジタル技術に支えられるコミュニティおよび循環で維持される未来の持続可能な地域医療-健康モデルの探索PJ キックオフシンポジウム (仮)

日時:2025年8月10日

場所:岩手県紫波町 情報交流館 1F市民交流ホール

10:00 シンポジウム開会宣言

・紫波町長挨拶

・協定締結式(紫波町、一般社団法人関西ヘルスケアサイエンスインフォマティクス、一般社団法人みんなの健康らぼ、医療法人社団やまと、京都大学医学研究科 社会健康医学系専攻国際保健学講座、秋田大学大学院 医学系研究科 先進デジタル医学・医療教育学講座)

10:20-10:40 龍岡 プロジェクト概要、デジタル技術と未来のヘルスケアコミュニティ

10:40-11:00 坪谷 社会実装から考える公衆衛生学と未来のヘルスケアコミュニティについて:みんらぼカード、VR化、ふるさと納税

11:00-11:20 田上 地方と都市の循環から考える未来の医療コミュニティについて (※ビデオメッセージ)

11:20-11:40 星真土香(コミュニティナース) コミュニティ畑の活動の紹介

11:40-12:30 昼休憩

12:30-12:50 出野紀子氏(株式会社Studio-L) コミュニティデザイナーから見る未来のコミュニティデザインの可能性

12:50-13:10 中村賢治(群馬大学 数理データ科学教育研究センター 講師) VR、AIと医療分野での応用について

13:10-13:30 中澤未美子(山形大学 学術研究院 准教授) 人工知能から考える未来の対人コミュニケーションについて

13:30-13:50 小休止&パネルの準備

指定発言&総合討論

13:50-14:10 及川沙耶佳(秋田大学大学院 医学系研究科 先進デジタル医学・医療教育学講座 特任教授)

14:10-14:30 近藤尚己(京都大学医学研究科 社会健康医学系専攻国際保健学講座 社会疫学 教授)

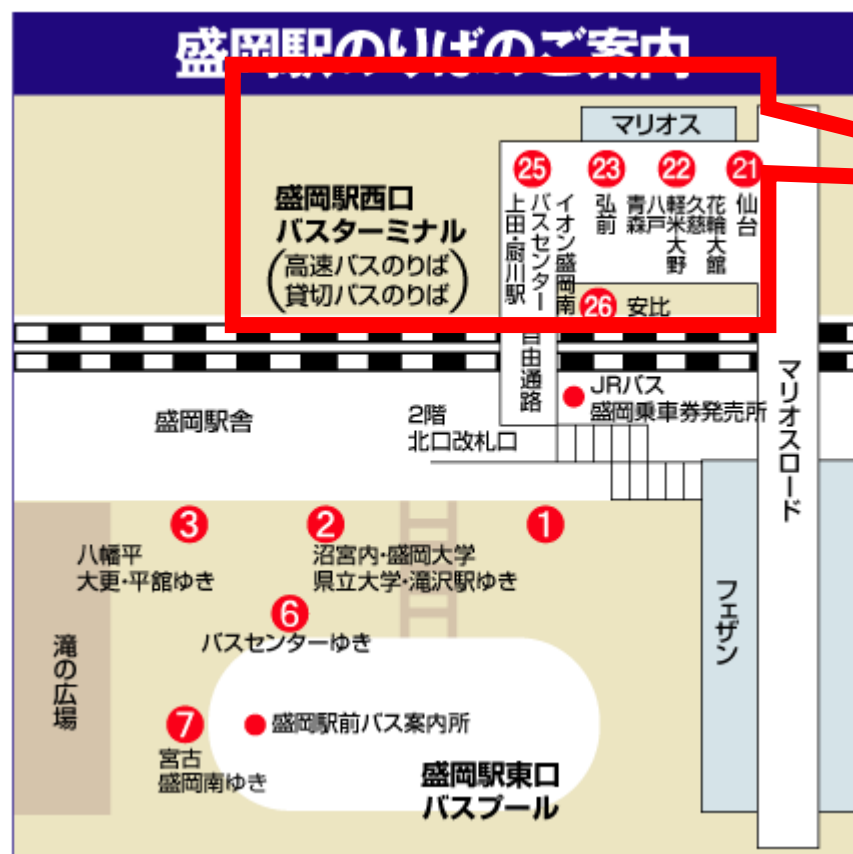
14:30-15:00 パネルディスカッション

15:00 閉会宣言

シンポジウムは一般市民も自由参加(無料)

コミュニティ畑の見学 / 紫波町図書館の紹介 / その他エクスカーション

盛岡駅西口



二日目のバスはここから出ます